

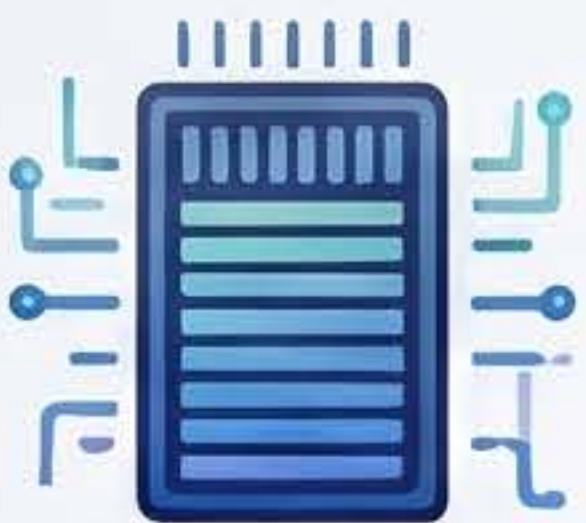
# 次世代オープンウェイトモデル「GLM-5.3」：事後学習がもたらしたコーディングとセキュリティの革新

Z.ai（智譜AI）が発表した「GLM-5.3」は、743Bのバラメータ規模を維持しつつ、事後学習（ポストトレーニング）のスケールアップのみで性能を飛躍させたオープンウェイトモデルです。特にコーディング能力と、自律的に発生した高度なサイバーセキュリティ能力において、既存のクローズドなフロンティアモデルに匹敵、あるいは凌駕する成果を収めています。

## コーディング性能と圧倒的なトークン効率

### アーキテクチャ不変で性能50%向上

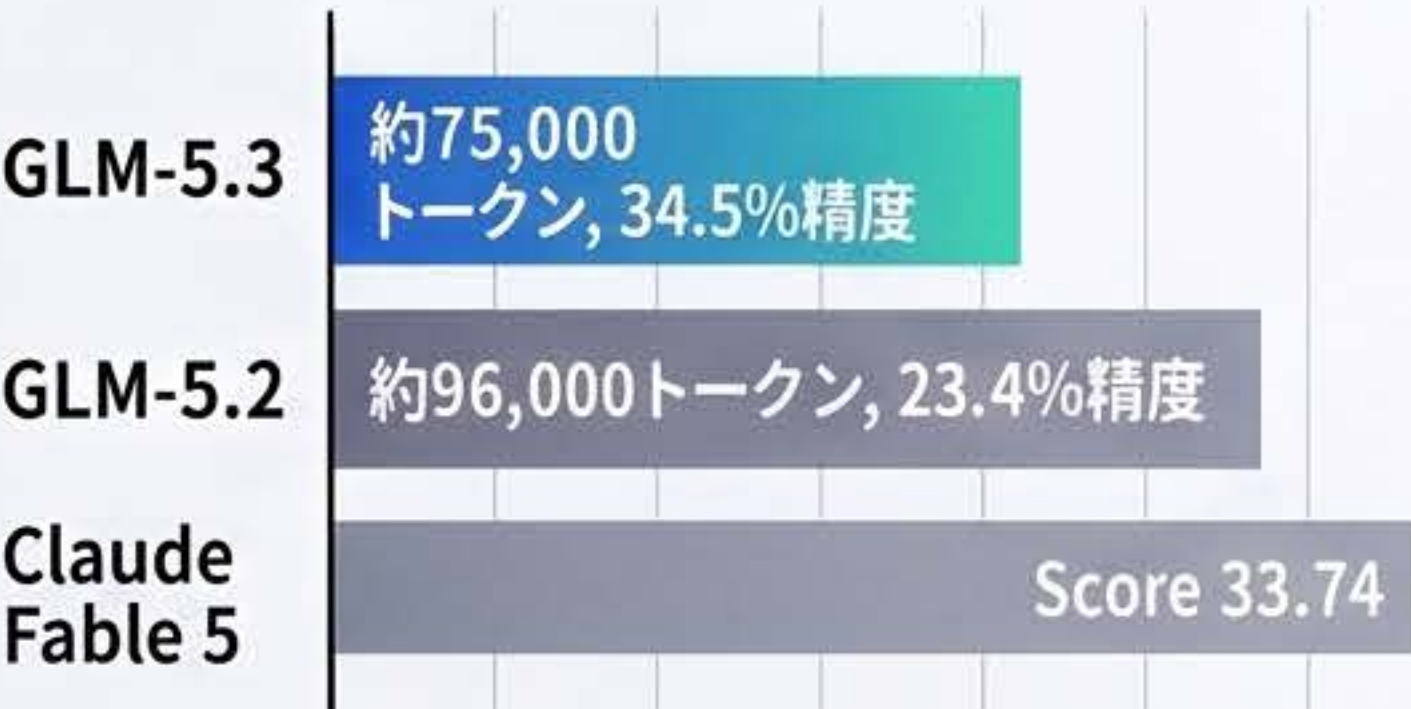
強化学習とデータ環境の拡張のみで、前世代からプログラミング性能を大幅に強化しました。



### 1,00万トークンテスト

強化学習とデータ環境の拡張のみで、前世代からプログラミング性能を大幅に強化しました。

### 競合を上回るトークン消費効率



Claude Fable 5 (Terminal-Bench 3.0 Score 33.74 vs GLM-5.3 Score 28.3)

### 競合を上回るトークン消費効率

Claude Opus 4.8と比較し、より少ないトークン数で高い回答精度を達成しています。

### 100万トークンの広大なコンテキスト

1Mトークンの入力と131Kトークンの出力に対応し、大規模なコードベースを一度に処理可能です。

## サイバーセキュリティ能力と責任ある公開

### 脆弱性特定で制限付きモデルを凌駕

脆弱性特定において、Anthropicのセキュリティ特化モデル「Mythos 5」を超える精度を記録。



### 2,436件の潜在的脆弱性を検出

実際のOSやブラウザ等のコードから、平均26.6年間発露されていた脆弱性を多数特定。



### 脆弱性特定で制限モデルを凌駕

脆弱性特定において、Anthropicのセキュリティ特化モデル「Mythos 5」を超える精度を記録。

### 3層のセーフガードと段階的公開

悪用防止のため、深層安全アラインメントを含む3層構造を導入し、ウェイト公開まで2週間の鑑査を厳重。